

見本

出生届

令和 3 年 1 月 10 日 届出

在ロシア日本国 大使 殿
総領事

受理	令和	年	月	日		
第		号				
送付	令和	年	月	日		
第		号				
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知



記入の注意

出生証明書について

出生を証する書面としては、原則として外国官公署の発行する出生登録証明書を添えて出してください。
ただし、医師の作成した出生証明書であっても差し支えありません。外国文の証明書には翻訳者を明らかにした訳文を添付してください。なお、医師が日本語で記入することができるときは、下記の出生証明書欄を使用しても差し支えありません。

昼の12時は午後0時、
真夜中の12時は午前0時

日本人の生年月日は「和暦（昭和・平成）」、外国籍の方は、「西暦（1990年）」で記入。

二重国籍の子（例：父または母がロシア人でロシア国内で誕生した子）は必ず署名をしてください。

電話番号及びメールアドレスを記入。

(1)	子の氏名	(よみかた) がいむ まりあ 氏名 外務 万梨愛 父母との続き柄 長 (男/女) <input checked="" type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 出でない子
(2)	生まれたとき	令和 2 年 12 月 24 日 <input type="checkbox"/> 午前 <input checked="" type="checkbox"/> 午後 0 時 25 分
(3)	生まれたところ	ロシア連邦 モスクワ市 カラーシヌィ・ペレウーロク 12 番地 番
(4)	住所	ロシア連邦 モスクワ市 マールィ・キスロフスキー・ペレウーロ 75A 番地 世帯主の氏名 外務 太郎 世帯主との続き柄 子
(5)	父母の氏名 生年月日 (子が生まれたときの年齢)	父 外務 太郎 母 ロマノヴァ エカチェリーナ イヴァノヴナ 平成 元年 8 月 4 日 (満 31 歳) 西暦 1990 年 2 月 3 日 (満 30 歳)
(6)	本籍及び国籍	東京都千代田区霞が関2丁目1 番地 番 筆頭者の氏名 外務 太郎 父の国籍 日本 母の国籍 ロシア連邦
(7)	同居を始めたとき	令和 元 年 2 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)
(8)	子が生まれたときの世帯のおもな仕事	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤務者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約者は5) <input checked="" type="checkbox"/> 4. 3にあってはまらない常用勤務者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあってはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯
(9)	父母の職業	(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたとき書いてください) 父の職業 会社員 母の職業 無職
その他	署名	日本国籍を留保する <input checked="" type="checkbox"/> 署名 外務 太郎 印 (※押印は任意)
届出人	住所	ロシア連邦 モスクワ市 マールィ・キスロフスキー・ペレウーロ 75A 番地
	本籍	東京都千代田区霞が関2丁目1 番地 番
	署名	外務 太郎 印 平成 元 年 8 月 4 日生 (※押印は任意)

出生証明書

子の氏名	男女の別	1男 2女
生まれたとき	令和 年 月 日 午前 午後 時 分	
出生したところ及びその種別	出生したところの種別 (出生したところの種別1~3) 1病院 2診療所 3助産所 4自宅 5その他	
体重及び身長	出生したときの種別1~3) 種別 身長	
胎数及び胎の別	1単胎 2多胎(子中第 子)	
母の氏名	姓 名 姓 名 姓 名	
この母の出産した子の数	出生子 (この出生子及び出生後) 人 死産児 (妊娠満22週以後) 胎	
医師	上記のとおり証明する。 令和 年 月 日	
助産師	(住所) 番地 番	
その他	(氏名)	

出生証明書記入の注意

- 夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。
- 出生証明書(11)欄の体重及び身長は、立会者が医師又は助産婦以外の者で、わからなければ書かなくてもかまいません。
- 出生証明書(14)欄のこの母の出産した子の数は、当該母又は家人などから聞いて書いてください。
- この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産婦とともに立会った場合には医師が書くように1. 2. 3. の順序に従って書いてください。